

3年 学年だよ!

3月号

2016年3月1日発行
貝塚市立第二中学校

真剣勝負 ～215人の総力戦～



受験は団体戦!

3月に入り、すでに進路先が確定した人、これからの人、さまざまです。

先日から「受験は団体戦」という話をしていますね。学年目標の「真剣勝負～215人の総力戦～」の最後の段階は、「受験」です。

すでに戦いが終わった人は、これからの人を応援し、支援します。積極的に応援・支援できる人は、協同学習の中で、教えられることをしっかりと教えてください。行事では、卒業実行委員として、「残す言葉の歌」や「卒業記念作品」、そして「お楽しみ会」のために力を出してください。消極的な協力として、授業を静かに受け、クラスの雰囲気大切にするなど、当たり前のことを当たり前にするだけでも、全員が何かの形で協力し、役に立てるはずですよ。

これから受験が待っている人は、もちろん最後までしっかりと頑張ってください。

「受験は団体戦」「受験は総力戦」

学年目標を最後まで大切にしてください、達成しよう!

「非認知能力」について、再び!

12月の学年通信に書いたことをもう一度、振り返りましょう。

「非認知能力」とは、社会に出た時に必要とされる、「粘り強さ」「協調性」「やり抜く力」「自制心」「感謝する力」「コミュニケーション力」といった類のものを言います。それが顕著に現れるのは、礼儀作法などの所作の場面です。

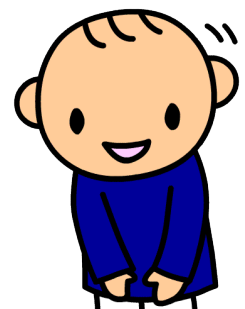
卒業式などの儀式、入試や入社試験での面接などでは、所作を見られ、試されます。

現在も、校長先生とグループ面接が続いています。先日ある生徒がこんなことを質問してきました。

「もう入試で面接はないのに、なんで面接練習するの?」

先生は次のように答えました。

「将来、社会に出るときに必ず必要となる面接を義務教育の最後に、しっかり学んでほしい。」と。



学びは、受験のためだけにするものではありません。学びは、9教科だけではありません。

人と人のつながりや、それを円滑にする挨拶等の儀礼的なことをしっかりと学ぶことは、「生きる力」として大切なことです。

授業では、開始時と終了時に、座礼と立礼の練習を行っています。また「お願いします」「ありがとうございました」などと、気持ちを声に出す練習も大切です。

皆さんは授業で毎回、「意識が高い状態」を継続できていますか？

中学校生活残り数日ですが、教科の得点を伸ばすことはもちろんのこと、社会に出た時に本当に必要とされる「非認知能力」を伸ばしましょう。もっと意識を高めて、社会に出て通用する力をつけるために、最後までトレーニングを続けよう！

卒業実行委員長の思い、再び！！ 「卒業式はみんなで作る最後の授業」

昨日の卒業実行委委員会News第1号は読みましたか？ そして保護者の方に見せてくれましたか？ もう一度、記事を掲載します。今回はぜひ、あなた自身が卒業式をどのように迎えるのか、実行委員長のメッセージを元に、保護者の方と家で話し合ってください。

僕がなぜ実行委員長になったかということ、最後、お楽しみ会を楽しんで、みんなでいい卒業式を作りたいと思ったからです

お楽しみ会は、みんなで楽しまないと意味がないので、みんなで楽しんで、いい思い出にしましょう！！

卒業式は、3年生みんなで作る最後の授業です。二中生であることに誇りを持ち、二中生でよかったと思える悔いのない卒業式にしましょう！！

そして、今までお世話になった親、仲間、先生に感謝の気持ちを忘れずに。

この先、自分の夢に向かって頑張ろう！！

